

しどういん

発行
厚木市青少年指導員
連絡協議会
編集 広報部会
厚木市中町1-1-3
TEL 225-2580

ジュニアリーダーの活動紹介

■みんなを笑顔にしたい■

南毛利地区 宮谷由利子

平成30年度、新しいメンバー2人を迎え、高校2年生の光永地区会長を中心に穏やかにスタートしました。

活動依頼は、子ども会、青少年健全育成会、自治会のお祭り、盆踊りのお手伝い、公民館まつり、児童クラブ、地域子ども教室など、たくさんあります。ジュニアリーダーは忙しい環境の中、がんばって活動しています。

ジュニアリーダーの地区会議は月1回、連絡事項や活動報告などを行い、会議後に依頼元のゲームの計画を立てたり、ゲームの練習をしたりと常に向上心を持っていきます。4月のお楽しみ会では、プリン作りを青少年指導員も参加して、地区会長のシビでブルブルのプリンができ、みんな大喜びでした。

これからも青少年指導員として、たくさん子どもたちを笑顔にする活動をどんどんしていきたいと思っています。

■ジュニアリーダー大活躍■

睦合南地区 福岡典秋

ジュニアリーダーの活動は、子ども会の新入生歓迎会のサポートから始まります。少年少女フェスティバルの準備では、



なりわい節 披露

竹をタワシで綺麗に洗ってくださいます。青少年健全育成会の魚つかみとり大会では、袋の配布や受付を担当します。地域子ども教室フェスティバルでは、缶バッチやかき氷をたくさんの子どもに作ってあげました。睦合西や睦合南の公民館まつりでは、チョコバナナ作りやふれあいステージの司会を担当し、出演者の紹介をします。地区会



初級・中級研修 頑張りました

■大人と子どものパイプ役■
厚木市ジュニアリーダーズクラブ連絡協議会会長 青木 桜歩
日頃のジュニアリーダーズクラブの活動では大変お世話になっております。活動として人の方へ歩み寄っていきまは、地域の子ども会や自治会のお手伝い、市の行事リーダーの方へ歩み寄ってくださるお手伝い、およびジュニアさると幸いです。
この研修会の企画や運営目的とした研修会の企画や運営スクラフへの協力をお願いします。
ジュニアリーダーの活動で
お願いいたします。

区会長と睦合西地区および緑ヶ丘地区青少年指導員にて、林中学校へ入会案内書を携えて訪問させていただきました。教頭先生と現状および今後について話し合い、入会促進のお願いをしたところ、現状を納得していただき、快く入会の後押しをしていただけるとお話をいただきました。
今後、入会者が増えることにより、各地区事業での更なる活躍が期待されます。

編集後記

今年は何年にも早い梅雨明けとなりました。夏本番になるのがこんなにも早くて暑い毎日が続くとは思ってもみませんでした。そして今年は何年といても4年に一度のサッカーワールドカップが開催され熱気あふれる日々が続きました。深夜のライブ放送をつい見てしまい、次の日は眠くてたまらない日もありました。青少年の皆さんにとっても、夏は一生残る思い出づくりの日々になったことでしょう。
今年は何年にも早い梅雨明け、皆さんも心配の日々を過ごされたと思います。これからも十分に気を付けてお過ごしください。
狭野地区(丁)

5月の中学校の全校集会ではジュニアリーダーズクラブを紹介し、募集をします。今年は3人が入ってくれました。運動部のメンバーが多く部活で活躍しているため、ジュニアリーダーの活動が少なくなっています。ジュニアリーダーの皆が行事に参加できた時に活躍できるよう、見守っていききたいと思っています。

少年少女フェスティバルを振り返って

団体育成部会長 中島 道夫

第21回少年少女フェスティバルが5月20日にアミューあつぎで開催されました。アミューあつぎの7階と8階のフロアを会場に、18の出し物を用意しました。当日の来場者は1100人であり、多くの皆さんに参加いただき盛大に開催できましたことを感謝いたします。

少年少女フェスティバルは、「遊び道具」作りを通して、「ものづくり」の楽しさを知ってもらうことが狙いの一つであり、どの出し物もその観点で様々な工夫をされています。この工夫により、子どもたちは日常では経験しないものづくり体験をし、自分で遊び道具をつくる喜びを感じてもらえればと考えています。最近ではデジタル社会となりバーチャルな世界が広がっていますが、自ら材料を加工するアナログながらも味のある作業を子どもたちに知ってもらい、興味を持って欲しいとも思います。

次々と出し物を作っていく元気な子どもたちと、その子どもたちを追いかける保護者の皆さんで会場は活気にあふれています。真剣に集中して「ものづ



力作の数々です

くり」に励む子どもたちと、それを近くで見守るお母さんの姿がとても印象的でした。夢中で作業をする姿をあたためたいまなざしで見つめて、一生懸命にがんばるわが子を優しく包む気持ちが伝わってきました。子どもたちの体験の機会ではありませんが、保護者の皆さんにとっても、普段見られない子ども的一面を垣間見ることが出来る機会になっていのではないかと思います。これから子どもたちの体験を通して、ご家族で楽しめる少年少女フェスティバルを目指していきたいと思っています。



ペーパーサート講演

■活動は楽しく■

厚木市青少年指導員連絡協議会会長 川田 房江

今年度より会長を務めさせていただきます。108人の青少年指導員の皆さんと目指すところは青少年の育成、ジュニアリーダーの育成と想っています。5月20日には「少年少女フェスティバル」を青少年関係団体、行政の方々のご協力により開催することができました。各地区の工夫を凝らした「遊び道具」作りの体験の場で多くの子どもたちの自分で作る楽しさ、できあがったときの笑顔を見ることができ、楽しい一日を過ごしました。

ジュニアリーダーの育成にっしては多感な時期を過ごしている中学生、高校生がジュニア区会長と睦合西地区および緑ヶ丘地区青少年指導員にて、林中学校へ入会案内書を携えて訪問させていただきました。教頭先生と現状および今後について話し合い、入会促進のお願いをしたところ、現状を納得していただき、快く入会の後押しをしていただけるとお話をいただきました。
今後、入会者が増えることにより、各地区事業での更なる活躍が期待されます。

少年少女フェスティバル感想

■ジュニアリーダーの活躍に感動■

これまで少年少女フェスティバルの存在すら知らなかった私ですが、実際に参加してみても規模の大きさに驚きました。

南毛利南地区の出し物は「押花のしおり」作りです。まず驚いたことは、先輩青少年指導員の方々がたくさん押し花と折り紙を持参したことです。多分数か月前から準備したのでしょう。青少年指導員の方々の少年少女フェスティバルにける思いを実感できました。

この少年少女フェスティバルは子どもたちがおもちゃ作りを体験し色々なことを学ぶ良い機会だと思えます。その子どもたちと感性の近いジュニアリーダーたちが熱心に指導し、完成まで親身になって作る姿はこの地区でも見受けられ、感動しました。



いいデザインです



みんな一緒に

体験したことや感じたことを、これからの活動に生かしていきたいです。

■聞こえる竹ぶえの音■

睦合南・西地区は竹ぶえ作りです。まずは胴体となる太めの竹と吹き口になる細めの竹を2つ選び、青少年指導員と共同作業にて竹に穴をあけたり、削ったりして作ります。カッターを使用するので、ケガのない様、気をつけながら子どもとコミュニケーションをとります。

小さい子には刃物が危険なのでほとんど親が作りますが、見ているとやりたくなる様で親の許可の上、サンドペーパーかけ等に参加してもらいます。大きな音を鳴らすには胴体の平らな部分の肉厚、穴の大きさや位置、吹き口を削る角度の調節で空気の入り具合が重要になり、「ピー・ピー」と音がした

時は笑顔になります。毎年参加している子どももあり、青少年指導員活動に初参加の私は一回で音が鳴らず苦戦していると励まされ、また助けられました。

終了間際になると竹ぶえを吹く音が聞こえ、竹ぶえ作りと子どもの素晴らしさを感じた一日でした。

私は今回初めて少年少女フェスティバルに参加しました。依知北地区は「紙ブーメラン」を作りました。厚紙をブーメランの型に切り抜き、シールを貼ったり、マジックで絵を描いたりして、自由に模様を付け仕上げます。厚紙を切り抜く作業が大変な子どものために、事前に型で切り抜いた物も用意しておいたので、低学年の子どもが大勢参加してくれました。中には、何度も来て最初の工程から一人で挑戦し、ほとんど手際が良くなっていく姿に感心しながら見守りました。完成した時に



飛べ！ブーメラン

関係団体の出し物

- ☆クラフト (ボーイ・ガールスカウト)
- ☆缶バッジ (ジュニアリーダースクラブ)
- ☆かわいい小物入れ (母親クラブ)

各地区の出し物

- ☆紙パック工作 (厚木北地区)
- ☆空気砲 2018 (厚木南地区)
- ☆紙ブーメラン (依知北地区)
- ☆まんげきょう (依知南地区)
- ☆かざぐるま (睦合北地区)
- ☆竹ぶえ (睦合南・睦合西地区)
- ☆輪ゴム鉄砲 (荻野地区)
- ☆ゴリゴリフロペラ (小粘地区)
- ☆フラトンボ (玉川地区)
- ☆スーパー竹とんぼ (森の里地区)
- ☆のぼるあゆコロちゃん (南毛利地区)
- ☆水てっぽう (相川地区)
- ☆凧 (緑ヶ丘地区)
- ☆しおり (南毛利南地区)

■飛んだブーメラン！■

依知北地区 佐藤正

私は今回初めて少年少女フェスティバルに参加しました。

依知北地区は「紙ブーメラン」を作りました。厚紙をブーメランの型に切り抜き、シールを貼ったり、マジックで絵を描いたりして、自由に模様を付け仕上げます。厚紙を切り抜く作業が大変な子どものために、事前に型で切り抜いた物も用意しておいたので、低学年の子どもが大勢参加してくれました。中には、何度も来て最初の工程から一人で挑戦し、ほとんど手際が良くなっていく姿に感心しながら見守りました。完成した時に

■笑顔いっぱい■

厚木北地区 渡邊秀一

いくぞ！ シュート！ コロコロコロ、ゴォール！ やったぞ！ 小さな男の子が蹴ったボールが、まっすぐゴールに吸い込まれた。紙パックで作ったボールは、意外にもきれいに転がった。帰ったらパパと遊ぶんだ！

遊び場にいつの間にか置いてあったゴールは、ジュニアリーダーの力作でした。粋な演出をありがとう。



笑顔までもう少し

「できた！」「ありがとう」などうれしい声もありました。自分で作り上げたブーメランを手に満足げな子どもたちを見ながら、ものづくりの楽しさを感じてもらおうお手伝いができて、充実した一日を過ごさせていただきました。

自分の作品に満足して、笑顔で帰っていく後ろ姿を見ると、こちらもうれしくなっていて心が癒されます。

さあ、来年は何にしようかな？

野外指導者講習会に参加して

■過程が大事■

玉川地区 越智・山田・三橋

野外炊事がメインの講習会でした。道具、作業の説明を受けいざ炊事場へ。薪に火をつけてご飯を炊き、カレーを作ります。ここで注意する点は、空気(酸素)と燃料(薪)のバランスです。

このような作業では、自然と男女別々の分担がさがちですが何事も経験という観点から皆が一通りできるよう、私たちの班ではどの作業もやってみることにしました。作業時間と材料が限られているため火加減・水加減が難しいところでした。各班の出来栄とお味は如何でしたか？

今回の研修では、普段気付かない危機管理を学べました。今後の活動に活かしていきます。

■講習会に参加して学ぶこと■

睦合北地区 森住操

私は2回目の参加で、今回も有意義に講習を受けることができました。特に作業の中で、ケガにつながる危険なポイントについて、講師から親切すぎるくらい丁寧な学びました。カレー作りは普段の何気ない作業ですが、これを子どもたちに教えるとなると、年齢や経験、成長の



水加減・火加減は大事です

■ご飯の炊き方の常識■

厚木南地区 小川達也

体育部会青少年指導員として準備から参加し、野外調理定番のカレーを作りました。オリエンテーションで、薪割り・火おこし・調理・なべ洗い・後片づけと一通りレクチャーを受け、各班に分かれて作業に入りました。

た。

昔教わったご飯の炊き方は、「はじめチヨロチヨロ、中パッパ」でしたが、今では強火で一気に入り上げた方がよいようです。火おこしでは少し手間取りましたが、他の班からお代わり希望者が出るほどおいしいカレー

新任青少年指導員の意気込み

■共に学んで■

小粘地区 澤田昌幸

以前から、青少年指導員はどのような活動をしているの？と思っていました。今年度オフアがあり二つ返事で引き受けました。まだわからないことだらけですが、ジュニアリーダーが困ったときにフォロワーできるような頑張りです。

野外指導者講習会では、薪を使った炊事の指導方法を学びましたが、薪をナタで割ることやどのように薪を組んだら効率よく燃えるかは全く経験したことが無く、細かなところまで指導できるのが心配になります。今後、その都度、ジュニアリーダーと共に学びながら成長できればと思います。

■活動の大切さを実感■

依知南地区 新井祐一郎

青少年指導員になってまだ間もないのですが幾つかのイベント



笑顔で頑張ります！

トに参加し、地域の子どもたちと接する機会があり、このような体験は青少年指導員にならないうと「経験しない事だな」と改めて活動の大切さを実感しました。

ジュニアリーダーともしっかり関係を深めお互いを知り、彼ら彼女らを全力でサポートさせてもらえたらと思っています。

不慣れなところもあります。が、自分のできる中で活動に参加できればと思っていますのでよろしくお願いたします。

■少しずつ■

森の里地区 僧偉航

今年度より青少年指導員になり、初めてのことはばかりで戸惑っています。各種行事に参加して少しずつ慣れてきました。

少年少女フェスティバルでは竹とんぼを子どもたちと作りました。子どもたちのドキドキしながらナイフを使っている姿やジュニアリーダーたちが子どもたちに教えているたくましい姿を見て、少しずつ成長していくのを実感できました。

今後活動をしていきながら、青少年の健全育成に取り組んでいきたいと思っています。

■子どもたちの笑顔のために■

相川地区 鳥居塚賢史

青少年指導員になり、初参加の新任者研修会。ジュニアリーダーや先輩青少年指導員の方々の想いを感じる事ができました。

私の住んでいる戸田にもたくさんの子どもたちがいます。元気いっぱい遊んでいる子どもたちの姿は見るだけでとても癒されます。

これから青少年指導員として活動していく中で、子どもたちが笑顔でいられるには何が必要なのか、何をすればいいかを考えて、私自身も楽しみたいと思っています。